

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)		平成30年度相模原市子ども・子育て会議 第1回相模原市幼児教育・保育ガイドライン策定部会				
事務局 (担当課)		こども・若者政策課 電話042-769-8316(直通)				
開催日時		平成30年5月9日(水) 午後6時00分～8時15分				
開催場所		けやき会館 職員研修所大研修室				
出席者	委員	5人(別紙のとおり)				
	その他	6人(別紙のとおり)				
	事務局	13人(こども・若者未来局次長、こども・若者政策課職員6人、 保育課職員5人、学校教育課職員1人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 開会 2 あいさつ 3 議題 (1) 相模原市幼児教育・保育ガイドラインの策定について (2) 平成30年度相模原市幼児教育・保育研修計画について(報告) 4 その他 5 閉会				

## 審 議 経 過

主な内容は次のとおり。( は委員・関係者の発言、 は事務局の発言)

## 1 開 会

## 2 あいさつ

## 3 議題

## ( 1 ) 相模原市幼児教育・保育ガイドラインの策定について

資料 1 で示されているスケジュール案の中で、幼稚園や保育園、認定こども園協会等の関係機関が取り組むべき事項については、時期も含めて示した方がよい。また、資料 3 で示されている国の動向については、重大事故やアレルギー等に関するガイドライン等、今まで国が取り組んできた質の保証、担保、向上の問題と密接に結びついた部分についても触れた方がよい。

本市の現状については、乳幼児期からの教育・保育に対する投資の重要性が叫ばれている世界的な流れの中で、全国学力・学習状況調査の成績が芳しくない現状があるため、その問題については載せた方がよい。また、ガイドラインの対象範囲は、保育園や幼稚園、認定こども園等といった特定教育・保育施設になると思うが、地域子育て支援拠点などの子育て支援事業の方たちが、ガイドラインの中に入れて欲しい項目等の要望に関するヒアリング等を実施してもよいのではないか。経過経緯の部分とアンケートやデータを中心とした本市の現状を合わせてガイドラインの必要性とした方がよい。

幼稚園・認定こども園協会としては、質向上の取組で第一に重要視していることは人材の確保であり、その次に採用した人材への研修の必要性と考えている。現在協会の中で行っている人材確保や人材育成の取組への財政的支援についても検討して欲しい。また、自己課題発見シートについては、10 数年前に神奈川県から配布されたチェックリストがあり、現在それを活用して自己評価を実践しているので、新たに用意する必要があるのか疑問である。ガイドラインの策定に当たっては、今まで幼稚園・認定こども園協会が取り組んできたことも取り入れてもらいたい。

ガイドラインには、各団体で考えられる問題点や今まで取り組んできたこと等を盛り込んで、様々な立場からの意見を出して策定していければよいと思う。これまで私立幼稚園や保育園が実施してきた研修をそのガイドラインに基づいて、市が実施していくことで、それぞれの団体を支援していくための仕組みができることになると思う。さらに、ガイドラインを策定することで、幼稚園、保育園共に、保育をしていく中で今まで気がつかなかった部分についての気づきが得られ

ればよいと思う。また、これまでの経過を丁寧に記載しておかないと、今回のガイドライン策定の話が急に出てきたような印象を受けかねないので、きちんと記載をしておいた方がよい。

委員の立場として、このガイドライン策定部会で議論されている内容を全て園長会等に報告することは難しい面もあるので、今までの経過やガイドラインのコンセプト、アンケートの内容をイメージ案に組み込んだ方がよい。

各団体の園長や市民等を対象に、なぜガイドラインを策定するのか理解を深めるための学習会を設けてもよいのではないか。

私学助成の幼稚園にとっては、処遇改善費に紐づいていないため、今回の研修体系は数多ある研修会の中の一選択肢としての位置づけにしかならないのが実状である。

最終的にこの仕組みを利用していかどうかについては、経営者の判断に委ねられるが、現在各団体で行っている研修が市の研修体系に組み込まれているのであれば、より利用しやすくなるのではないか。

前日も発言をしたが、このガイドラインがどのような性質のものなのかというところが曖昧であるため、警戒感を持たれるのではないか。どの園に通っても同じ質の幼児教育が受けられるという部分について、質保証の部分のことを言っているのか、質向上の部分にまで対象を広げるのかによって、園の考え方も変わってくるので、ガイドラインの性質についてよく考えた方がよい。

最終的にどういった性質のガイドラインを策定するのかということについては、このガイドラインを誰に向けて策定するのかによる。現在、株式会社等の参入により質保証の部分も揺らいでいる園がある中、国がガイドラインを策定する流れを作っていることについては仕方がない部分がある。しかし、それは常に質向上の話との兼ね合いもあり、保育の独自性が失われる危険性もはらんでいる。そのため、常に議論をしていくことが必要である。

相模原のガイドラインを策定していくとなると、国の動向とは別に相模原市の独自性を盛り込まなければならないと考えるがどうか。

国がガイドラインを作る前に、このガイドライン策定部会で議論をして、ガイドラインを策定していくことでよいと思う。その中で、市の実情が変わっていったり、課題となっていた部分がクリアされていくことによって、一度策定したガイドラインの内容に追加される項目があったり、削除される項目があったりと、見直しを図っていく必要があると思う。

保育園としては、保育の質の担保について非常に危機感を持っているので、質保証の観点から、ガイドラインを策定することについては必要と考える。また、研修体系とガイドラインが連動することで、定期的な振り返りの仕組みができ、チェック機能も保たれると思う。資料3の国の動向やガイドラインの必要性につ

いては、子どもの権利や子どもの貧困問題といった福祉的な視点をもっと盛り込んだ方がよい。また、保護者支援の視点については、このガイドラインを保護者にどう周知をしていくのかということについて、きちんと位置づけを行うべきである。

ガイドラインの内容を検討していく上で、現在先行して行われている研修の参加状況や内容について、併せて検討していくべきである。また、園の施設長等が研修の空きがあれば参加することを可能にしたり、このガイドライン策定部会の委員が、研修を見に行く機会を設けることはできるのか。

このガイドライン策定部会に出席をしている委員や関係者については、時間の都合がつく限り、研修の内容について見に行くことは可能にしてはどうか。

市から、来年度の研修体系のあり方を検討する検討部会というものを立ち上げたので、委員を出して欲しいという要請があったが、その検討部会の位置づけというのはこのガイドライン策定部会の下部組織という位置づけなのか。

現時点では研修内容の検討部会の位置づけについては決まっていないが、その部会で議論された内容については、このガイドライン策定部会の出席者に共有をするつもりである。

地域の実情に合わせたものを策定するためにも、相模原市としてのガイドラインの策定は必要と考える。ガイドラインを策定した後、どのように活用していくのかということについては、ガイドラインの内容は抽象的な内容となるため、保育の現場で具体的に取り組んでいくためにも、例えば内容の研修を行ったり、ガイドラインの副読本を作成したりするといったような仕組みづくりをした方がよい。また、研修計画については、保育の質の改善に役立っているのかという視点を持つことが必要であり、将来的に様々な問題が生じたときに見直しを図るためにも、ガイドラインを策定していく中でそのメンテナンスの仕組みも考えていければよい。

ガイドラインという名前だと硬い印象を受けるので、保護者や地域の人が見てどんな内容が書かれているのかイメージが付きやすいテーマのようなものがつけられるとよいのではないかと。また、内容については、子どもの人権や特別な配慮が必要な子どもに関する項目、健康面や安全面への配慮の項目があるとよい。

ガイドラインが誰に向けて書かれているものなのかということが明確に位置づけられていると、保護者側はこのガイドラインをどのように活用していくべきなのかということがよりわかりやすくなると思う。

ガイドラインは、保育者側が活用できるものにする必要もあるが、保護者や地域の人から見ても内容がわかりやすいものを作ることが大事である。

( 2 ) 平成 3 0 年度相模原市幼児教育・保育研修計画について ( 報告 )

研修申込みのホームページについて、リンクや案内のチラシなどがあるとわかりやすい。

ホームページの改善要望については、園長会等を通じて市へ伝えることで、使い勝手がよくなっていくと思う。

4 その他

( 1 ) 今後のガイドライン策定部会の日程について

( 2 ) 会議録の送付について

5 閉 会

相模原市幼児教育・保育ガイドライン策定部会委員名簿（五十音順）

名 前	所 属	出 欠
朝比奈 太郎	相模原市私立保育園・認定こども園園長会	出席
安藤 抄苗	公募市民	出席
荒井 美由紀	相模原市立小中学校長会	出席
岡 健	大妻女子大学家政学部児童学科教授	出席
永保 貴章	一般社団法人 相模原市幼稚園・認定こども園協会	出席

部会長

相模原市幼児教育・保育ガイドライン策定部会関係者名簿（五十音順）

名 前	所 属	出 欠
岩本 勉	一般社団法人 相模原市幼稚園・認定こども園協会	出席
遠藤 美智子	相模原市大沼保育園園長	出席
大野 計子	相模原市ふじの幼稚園園長	出席
神尾 美香子	相模原市私立保育園・認定こども園園長会	出席
齋藤 正典	一般社団法人 相模原市幼稚園・認定こども園協会	出席
園田 巖	東京都市大学人間科学部講師	出席